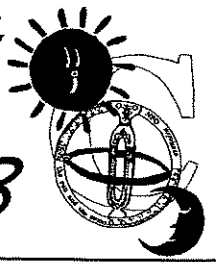


KSKQそよかぜ通信

N O . 203

E-mail:minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp



『夢のような未来へ』

2025年大阪万博もはじまり、大阪が活気にあふれてきています。55年前の1970年、大阪万博の時を思い出します。確か、私が小学3年生の時、夢のような世界がそこにはありました。夢中でした。

アメリカ館には、1969年7月20日に、アポロ11号宇宙船が人類初の月面着陸したときに月より持ちかえった石が飾られていました。それを見るのは、もの凄いの行列でした。それでも、どうしても見たくて、凄い時間を並んで「月の石」を見た印象があります。

今回の万博にも55年前に飾られていたあの「月の石」が飾られるそうです。楽しみです。

また、三波春夫さんが歌ったテーマソング「世界の国からこんにちは」は、今でも覚えています。「世界の国からこんにちは」は、1967年、三波春夫、坂本九、吉永小百合、山本リンダ、ボニージャックスなどの複数名の歌手が、が競作で発売したということです。全総売上は300万枚を超えたそうでしたが、中でも三波春夫盤が最高の売り上げを記録し、140万枚を売

り上げるミリオンセラーとなつたということです。ちなみに作詞は、島田陽子で作曲は、中村八大だということです。

当時の万博のシンボルになった建築物で当時の芸術作家の岡本太郎さんが製作した「太陽の塔」は、今でも大阪のシンボルになっています。

そして、55年前の万博では、「動く歩道」がありました。すごく驚いた事を覚えています。

アニメで手塚治虫の「鉄腕アトム」が1963年から1966年まで放送されていて、本当に時代が移り変わり、宇宙に行くシーンも多く描かれていました。アトムを見ながら、宇宙に憧れていた自分がいました。自分もこの時は宇宙に行けるかなと思うほどでした。

さて、2025年万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ですね。

コンセプトは、人間が望む生き方を考え可能性を最大限に発揮できる現実・持続可能な社会を国際社会で共創していくこと・未来社会の実験場として、最先端技術を体験できる場を提供することだということです。

そのようなコンセプトを掲げて

一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月(1)・2・3・5・6・8の日発行

いる万博を開催するのだから、ぜひとも、障害者が、特別な存在ではなく、普通に社会で過ごせる未来(配慮されるべきところは、当たり前のこととして配慮されたうえで)の話ですが、近づくことを望みます。

とにかく2025年万博が、無事に成功することを祈ります。

そよかぜの家は、インスタグラムも始めました。みなさん視聴よろしくお願ひいたします。

メルカリの販売も、今まで以上にがんばりたいと思っています。そよかぜの家も作業所時代も含めて、40年目に突入しました。私が、そよかぜに入社してもう、25年にもなりました。

みなさま、本当に長い間の支援をありがとうございます。

今後もしよろしくお願ひ致します。

そよかぜの家 山口 進

掲示板

そよかぜバザー

5月10日(土)

in
メイプルホール
11:00 ~ 14:00

感動したのです。

寒い、寒い冬がようやく終わりを告げたかな？と、ちよつとだけ、気持ち緩んでいました。

なのに……。今日の寒さはどうということ！？、出勤しようとして玄関を出たら、なんと、なんと！一面に（アスファルトのところ以外）霜が降りていました。玄関から、道に行くための階段は、少し凍っているような感じで、ちよつとだけ滑りました。足先は氷のように冷たくて、痛い。特に右の足。

今日は3月18日です。私は能勢町に住んでいるのですが……。それにしても、寒くて、なんじゃあ。なんて思ってしまった。夜も本当に寒いんですよ。山奥？ですからね。なんちゃって3月ももう半ば、いつになったら春が来るんだ！梅の花はもう咲いてるよ。（うちの梅はまだ咲いていませんが……）

つて、春待ち遠しい、私です。早く暖かくなつてほしいな……。

このそよかぜ通信がみなさまに届くころは、もう4月を過ぎていることでしょう。さすがに暖かくなっていますよね。話は変わります。ちよつと前のNHKの「大人のEテレタイムマシン」という番組で「林竹二が残したもの」というずいぶん古い番組を見ました。感動しました。「こうじゃなくっちゃあ」と思ったし、「いいなあ」と思ったのを覚えていきます……。ここまで書いたと

ところで、私は、全く文章が思い浮かばなくなつてしまったのです。林竹二さんの話は、感動したし、何とか文章にしたい！って思うのですが、焦つて、気持ちがあが上滑りしてしまっているような感じで全く言葉を文章を、紡ぐことができませんでした。

時は流れて、（ちよつと大げさかな）今日は、3月27日。なぜだか、文章が浮かんできたのでした。「中島みゆき」春・旅立つひとに贈る名曲選」というNHKの特別番組を見たからかもしれない。番組で紹介していたので「おおー」って思つて録画しました。録画していたものを昨日見たのでした。

もぐもぐ、黙々、晩ご飯を食べながら中島みゆきさんの唄を聞き、歌う姿を見ていました。「フアイト！」「誕生」……。タイトルがどうしても思い出せなかった曲も流れていました。「泣きたい夜に」というタイトル。

ああ、そうだった。この唄だ。この唄、大好き。

番組で流れてる曲、全てが心に沁みてきました。さすがだと思いました。（ちよつと、偉そつで、ごめんなさい）「フアイト！」は何となくヨイトマケの唄に似ているなあって思いました。美輪明宏さんと中島みゆきさんは、全然違うのにね。

見てるうちに、ああ、そうだ。中島みゆきさんは、私の大好きな甲斐よしひろさんと仲良し……っていうか、友だちだったんだよなあって思い出しました。今でも、きつとそうであつてほしいな……。

歌を聴きながら、すぐすぐ、感動していました。

宮部みゆきさんの物語。

林竹二さんの授業。

林竹二さんは、Eテレの番組を見るまでは、名前すら知らなかった人でした。哲学者で、元宮城教育大学学長だった人だということでした。

教育ありかたを問い直そうと全国の小学校を授業して回つたそうです。生徒の活発な発言が少なかったということ、当時の教師には、評判が悪かつたそうです。ですが、「まるで奇跡が起きたように深い集中力を示す」感想文が授業後に綴られたり、たつた1回の授業で、その後の人生を大きく変えた生徒がいたそうです。

林竹二さんは「授業とは、子どもの心の中にひとつの事件を起こすことである。」と言つていたそうです。「学ぶ」ということは、覚えこむこととは全くちがうことだ。学ぶとは、いつでも、何がはじまることで、終ることのない過程に一步ふみこむことである。一片の知識が学習の成果であるならば、それは何も字ばないでしまったことではないか。学んだことの証は、ただ一つで、何かがかわることである」とも。

その通りだと思いました。教科書に書かれていることを覚え込んで、テストをして、よい点数がとれたら、それが良いとするのは、違うのではないかと、林竹二さんは言っているように感じました。

私は、勉強ができませんでした。努力が足りなくて、成績が悪かつただけな

のかもしれないです。でも、林先生のような視点での授業は、とても楽しく面白く、興味深いものだったに違いないうて思いました。そんな授業を受けてみたかつたなつて、うらやましく思えました。

甲斐よしひろさん。

中島みゆきさんの唄。

忍野清志郎さんの唄。

藤本有紀さんの物語。

私の知っている藤本有紀さんは、脚本家です。初めて、藤本作品に出合つたのは、NHKの朝の連続テレビ小説「ちりとてちん」でした。「ちりとてちん」は、落語がベースになっているドラマでした。びっくりするほど、感動しました。大河ドラマ「平清盛」も藤本さんです。そのほか色々あつて、今回しらべて、わかつたのが、NHKのドラマで、黒木華ちゃん主演の「みをつくし料理帖」もそうでした。知らなかつた……。そおいえば、ひどく感動したのを覚えていきます。

……。そこには、私の理想がありました。あつ！過去形じゃ、ないです。「理想があります。」です。「こうでなくっちゃあ。」「こうありたいよね。」って思う世界が、社会が、そこにはあります。その世界が、私を支えていると、感じています。

私は、様々なことに感動して、心を動かされて生きてきました。

色んな人たちが、様々なアプローチで世界を、社会を耕しながら生きています。障害者と呼ばれるひとたちも、健全者と呼ばれるひとたちも、一生懸



命に…。

私も、その中の一人でありたいと思います。そう、あり続けたいと心から感じています。

これまで、出会えた人たち。出会って仲間になれた人たち。これからも、出会っていきだろ人たち。

私は、その仲間たちと、色んなことがあっても、手を携えて、心を携えて一歩づつ、歩いていきたいと思っています。社会を耕していきたいと思っています。

「瀬をはやみ、岩にせかるる谷川の

われてもすえに 会わんとぞ思ふ」って、崇徳院の唄のように今は会えなくなっちゃっていても、いつかは必ずめぐりあつて一緒に進んでいきますように…。です。

今は、会えないみんな。

また、会おうね。

これからも、

よろしくお願いします。

2025年3月27日

そよかぜの家 三枝有紀

こんにちは。ワークランドの小林です。

いつも年末に一年はあっという間ですね！…等と申していますが、数えてみると私がワークランドに入社して、もう五年が経っていたのか？！と、改めて自分でも驚いています。

なぜ急にこんな振り返りをしたかという、ワークランドのパン販売が無くなるからです。今まで学校や施設等、色んな所へ販売に行かせて頂いておりましたが、残念な事にずっとワークランドの販売を担当してくれていた岸田さんが体調面等色々あって退社される事になりました。ずっとこのままやれるところまでやり遂げたかったのですが、ワークランドの事情含めて、今後の販売はそよかぜの家さんと、数時間のらいとぴあ販売のみに絞る事になった2025年度のスタートとなります。

下記はその岸田さんよりお礼の言葉を預かりましたのでここでお伝えさせていただきます。

こんにちは。ワークランドのパン販売担当の岸田です。

2014年の5月に入社して以降約11年間パン販売に従事してきましたが、去年の秋に体調を崩し、年齢的な事も含めて退職を決めました。

本来はパン製造が好きなのですが、募集が販売という事もあり、販売を主にしてきました。

(もちろん製造面でも美味しいぱんを提供出来るようにアイデア等全力を尽くしましたよ！)

サラリーマン時代から仕事を通して学んだことは、人との繋がりを大切にすることです。

売上も人との繋がりにから生まれます。今回の退職の件でも多くのお客様から身体の心配をしていただいたり、一旦休んでまた復帰してください！とか、握手を求められたり、正直ここまで残念に思っていたとは思いませんでした。退職後の人生、仕事での繋がりは無くなりますが、全てのいろんな方との繋がりは一番大切にしていこうと思っています。

長い間お世話になり、ありがとうございました。障害者スタッフの皆さん、これからも元気で頑張ってください！！





ぼ〜ん ぽん ぽ〜ん
弾むころ
コロコロ
遠くまで
ころがって行けるかな

★ new design T-shirt ★
「心弾ませて」

Pon Pon Po—n

エバック
rchebag

できる、ナチュラル素材のマルシェバッグです。
物バッグとして使用できるのはもちろん、旅行の際の
でも便利。

イズ 本体/約 W30 x H36(持ち手含む H53)
(税込) 持ち手/約 5 x 17(折りたたみマチ/約 10)

ナチュラル ワインレッド ネイビー ブラック

ナチュラルカラーはエコマーク取得の無漂白アイテムです 素材 綿100%

※ナチュラルでのイラストカラーは濃紺。その他は白色でのイラストになります。

2024 年度 各会員費・寄附金のご報告

平素より、そよかぜの家の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

前年度はたくさんの方より賛同・賛助及びご支援をいただきました。そよかぜの家一同、感謝申し上げます。

- ・個人・団体賛助会員費・・・88,200 円 (74 口)
- ・個人正会員費・・・11,400 円 (19 口)
- ・寄 附 金・・・165,490 円 (リサイクル用品寄附除く)

ティーシャツ T-shirt

1枚...1,850 円(税込価格)

◎カラー



レッド



ピンク



ブラック



グリーン



オレンジ



ネイビー



ターコイズ



ライトグレー

ベーシックなTシャツに「滝の道ゆずる」とコラボしたそよかぜオリジナルデザインです

サイズ	160	S	M	L	XL
着丈	63	65	68	71	74
身幅	46	47	50	53	56
肩幅	41	40	43	46	49
袖丈	18	19	20	21	22

●サイズとカラーの組合せは自由です。

※ミックスグレーの場合のみ、イラストの色が濃紺になります。(その他の生地の場合はイラストは白です。)

WOW WOW

マルシ
Mail

大容量が収納で
日常のお買い
サブバッグとし

Mサイズ
800 円

・皆様はじめまして 2025年4月1日
よりそよかぜの家でお世話になるこ
とになりました。『植田 正志』と
申します。どうぞよろしくお願いしま
す。これからそよかぜさんでがんばっ
ていきます。と思っております。
(植田 正志)

- ・好きなアイドル
(乃木坂46・日向坂46・櫻坂46)
- ・好きな食べ物(唐揚げ)
- ・好きな乗り物(阪急バス・阪急電鉄)

そよかぜの家の
新メンバーさん。
よろしくね!



minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp

そよかぜ通信について、ご意見・ご希望・ご感想など
ございましたら、お気軽にお知らせください。



会員募集のお願い

特定非営利活動法人そよかぜは、地域の障害者に対して自立と社会参加と就労に関する事業を行い支援することにより、障害者の完全な社会参加と平等を求め、すべての差別を拒否し平和で人権と環境に守られた街づくりを推進することを目的とし、障害者はあらゆる場で対等であることを求めるとともに地域社会で働き、暮らす、社会の一員であることを求め活動する団体です。

特定非営利活動法人そよかぜは、上記の目的を達成するために下記の事業を行います。

1. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業及び地域活支援事業
2. 経済的自立を支援するためのその他事業
3. 地域での各種イベントへの参加など交流事業
4. 各号に附帯・関連する一切の事業

以上の目的及び事業内容に賛同・賛助いただける方を会員として求めています。

ぜひ、私たちの事業内容に賛同・賛助し、入会していただけますようお願いいたします。

お申し込み方法：別紙入会申込書をご記入のうえ、郵送または FAX にて送付していただくか、直接そよかぜまで、お申し込みください。

特定非営利活動法人そよかぜ 入会申込書

「特定非営利活動法人 そよかぜ」は、障害者の完全な社会参加と平等を求め、地域社会で暮らし、働くことを推進する団体です。

特定非営利活動法人 そよかぜ（以下そよかぜという）に下記の賛助会員として入会します。

1. 団体賛助会員・・・そよかぜ事業・活動に賛助して、加入する法人及び任意団体。 総会での議決権がありません。

「入会金： 0 円 年会費：1,200 円（1 口）」

2. 個人賛助会員・・・そよかぜ事業・活動に賛助して、加入する個人。 総会での議決権がありません。

「入会金： 0 円 年会費：1,200 円（1 口）」

下記の表にご記入ください。（会員の箇所は丸をつけてください。）

会員名	団体賛助会員		個人賛助会員	
(フリガナ) 団体・法人名			(フリガナ) 代表者名	
(フリガナ) 個人氏名				
住所	〒(-)			
電話番号			FAX 番号	
所属団体				
入会申込み年月日	年	月	日	[口数] 口 ￥
入金方法	どちらかに○をつけてください		※ 領収証発行日	年 月 日
	振込み	現金		
※ 会員番号			※ 領収証発行者印	

※は記入しないでください

会費振込先・・・郵便振替口座 00980-328333 特定非営利活動法人そよかぜ

特定非営利活動法人そよかぜ

〒562-0043 大阪府箕面市桜井3丁目8-2 南山閣江口ビル 103・104

電話：072-722-6161 FAX：072-722-4876

そよかぜオリジナルTシャツ・マルシェバッグご注文書

フリガナ	
お名前	
ご住所	〒
お電話	
E-mail	

■「心弾ませて」マルシェバッグ記入欄 1枚 Mサイズ¥800 (送料実費)

	色 (ご希望の色に○)	数量
	ナチュラル ・ ワイン ・ ネイビー ・ ブラック	
	ナチュラル ・ ワイン ・ ネイビー ・ ブラック	
	ナチュラル ・ ワイン ・ ネイビー ・ ブラック	

■「心弾ませて」Tシャツ記入欄 1枚¥1,850 (送料実費)

サイズ (ご希望のサイズに○)	色 (ご希望の色に○)	プリント	数量
S・M・L・XL・XXL	ブラック・ターコイズ・デイズ・グリーン・ネイビー・グリーン・ミックスグレー・ピンク	F・B	
S・M・L・XL・XXL	ブラック・ターコイズ・デイズ・グリーン・ネイビー・グリーン・ミックスグレー・ピンク	F・B	
S・M・L・XL・XXL	ブラック・ターコイズ・デイズ・グリーン・ネイビー・グリーン・ミックスグレー・ピンク	F・B	

※XXL サイズは 300 円アップします @オリジナル商品 3,500 円以上送料無料!!

※お支払方法：商品と一緒に同包されている郵便振り込み用紙にご記入の上、お支払下さい。

特定非営利活動法人そよかぜ

そよかぜの家

〒562-0043 大阪府箕面市桜井 3-8-2-103

TEL : 072-722-6161

Email : minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp

URL : <http://nposoyokaze.org/>

ご注文は…

TEL



072-722-6161

Fax



072-722-4876

編集後記に変えて

春はいつ来るのかな？待ち遠しいな。いつまでも、寒いけれど…。大丈夫かなあ？なんて思っていました。今日は、3月28日。もう3月も終わりです。

気がつかないうちに季節は動いていました。朝、起きた時には、大雨で、ものすごく憂鬱でした。ですが、出かけるときは、小降りになっていて、庭の植木鉢に植えてある植木たちをふと見ると、硬く閉じていて、「冬の寒さで、枯れちゃったのかな？」って、見るたびに、ちょっと悲しい気持ちになっていた草木たちが、なんとなんと硬かった蕾がほころびかけて、緑の新芽が顔を出しているではありませんか!!なんて、かわいらしい…。なんて、愛らしい…。「春だぁ!」「春です。」待ちに待った春です。春は、私の大好きな季節。

自然界のエネルギーに、生命のエネルギーに圧倒され、打ちのめされてしまう、へなちょこの私ですが、それでも、やっぱり春は大好きです。

堅い堅い蕾が、芽吹くのだから、自然のエネルギーは、どんなにすごいものなのだろう。そのエネルギーのすごさに驚き、祈り、感謝しつつ、春の包み込むような優しさや希望に満ちた光りをからだいっぱい感じています。春の希望の光を全身で感じながら、希望の種をまいていきたいです。希望の種が、芽吹く社会を耕していきたい。

福祉制度は、いろいろ出来上がっていて、制度がなかった過去よりは、色んな人が街で住みやすくなっているのかもしれない。って思いますが…。まだまだ、差別は、根強く残っていて、悲しくて、理不尽な思いをかみしめている人たちがいるだろうって私は、思っています。

先日見たテレビでは(「はじめましての二人旅」という番組でしたが…)車いすユーザーの高校生と女子相撲学生日本一の大学生が神戸へ!中華街で食べ歩き、オトナメイクで大変身…様々の体験から自分を見つめ直した2人が描く未来への思いを語り合いながら、過ごす2泊3日の旅なのですが…。オトナメイクの教室?に行き、メイクしよう!っていう時に、なんとなんと、そのメイク教室がビルの4階にあったのです。そこは、エレベーターもなくって…。車いすユーザーの女子高校生は何とかゆっくり階段を4階まで上がり、その後ろから、女子相撲学生日本一の女子大生が車いすを抱えて4階まで上がっていたのです。「体力的には、全然大丈夫だから、私が抱えて運ぶよ。」って大学生は言って、階段をスイスイ?車いすを抱えて上がっていました。

うーん。ん、ん、ん。なんだか、おかしい…。女子大生は、体力があって、4階まで平気で車いすを抱えて持っていけたのだろうと思のです。それに、一緒に旅をしている人が困ったことにならないようにって思って、の行為だとも思う…。そのことについて、その気持ちについて、どうこう思うわけではないのです。多分???そのことが、問題ではないのです!

だけど、なんか引かかった。そこには、法律になっている「合理的配慮」の考え方は全く見えてきませんでした。その後、食べに行った高級フランス料理のレストラン(大邸宅を改築?してレストランにしていた。)では、何段かの階段を上らないといけなくて、2人で手をつないで階段を上っていました。

映像で、その光景を映していました。それでいいんだろうか?2人は楽しそうに旅を続けていました。友情も芽生えたように見えました。でもね。でも…。この間見た、厚生労働省が作った、BCPに関する机上訓練(通所系)の動画では、利用者さんのことを「引き取る」とか「あずかる」とか言っていました。なんだか、物みたくに思えて、抵抗がありました。ちがうもので、違う場面ですが、障害を持つ人のことを「取り扱う」という言葉を使っているものもあります。なんだか、なんだか、とっても…。色んな制度ができて障害者と呼ばれる人たちも生きやすくなっているのかもしれないです。だけど、「はじめましての二人旅」や「机上訓練」での動画で感じた「ちょっと!ちがうんじゃない?ひどいんじゃない?」っていうことがあります。そんなふうに感じるのは私だけなんですか??

理不尽な思いをして生きている人たちはまだまだいっぱいいるんだと思います。だから、ちょっとずつでも、すこ〜しずつかもしれないけれど、理不尽に悲しくて、悔しい思いをするような人がいなくなるように、この世界をこの社会を耕していきたい。障害者と呼ばれるひと、健全者と呼ばれるひと、誰もが、みんな、みんな、理不尽につらい思いをしなくなる社会を目指して、一歩づつ歩いていきたいです。みなさん、よろしくお願いします。

2025年4月1日

(いつの間にか4月になっちゃってました。)

そよかぜの家 三枝有紀

発行人

一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行
関西障害者定期刊行物協会 〒五四三〇〇一五 大阪市天王寺区真田山町二二東興ビル 四階

編集人 特定非営利活動法人そよかぜ 理事長 山口進(障害者の働くパンハウス・ワークランド 代表 山口進)
連絡先 〒五六二〇〇四三 箕面市桜井3丁目8番2号 特定非営利活動法人そよかぜ ☎(072) 七二一六六一(072) 七二一四八七六
振込先 郵便振替 〇〇九八〇〇一三三三三三 特定非営利活動法人そよかぜ 定価一〇円